

技術士だより

一社日本技術士会九州支部・九州地方技術士センター 秋季号<第6号>(平成2年11月5日発行)

◇巻頭言

心の旅路

土居 貞夫 (支部長・会長)

さあ、準備も整った。八十八ヶ所第一番札所霊山寺を出発しよう。入れ代わり立ち代わり、お遍路する人々は集まりては、それぞれの願いを持って修行の道へと散って行く。私は寺院の門を出た。

いま修行の道を歩き始めた。遍路には個性がないという。個性があってはならないのである。札所は、この歩き続けることの一連の行為を確認する場所だという。白い行衣などの一様の装束は、一切の名を捨て一律にお遍路さんになりきることで、霊場巡礼は死後の幸福と、現世の幸福に最も功德があると信ぜられ、富貴の人も一度はこの乞食の旅に出ることによって、自分の意識をも、人間社会の肩書きも、毀誉褒貶もなにもない、新しく生きる人生の再出発に、自身に宿る精神構造の改革をして、健康な心を我が心とし、極楽浄土は死後になく現世に在りとの思いを持ち、幸せなこの世をお互いが切磋琢磨することによって、この世をば煩惱から離脱した清浄な住みかを作り出すことで、心の病を無くして健康な美しい心を持つを、我が心とすればどうでしょう。

陽は昇り、陽は輝き、衆生にめぐみて陽風また心地よく、白い我が衣は軽く、一步二歩、私の足はこの地球の表土に踊るようにかろやかに前に出る。今ふうに舗装された道を西に行く。この日のために、日頃から足を鍛えることを日課にしていた。一日一里、とにかく暇をみつけて歩んだ。歩くことには自信がある。今日という日のための私の長い年月の願望だった。軽く歩ける。去り行く見知らぬ他国の地を「南無大師遍照金剛」とお大師さんと二人して歩んでいる。

「お大師さん、あれはどうだったでしょうか?」「ウンそうだね……。こうすればよかったらうに……」次から次へと、私との問答がつづく。

金剛杖を持つ手に汗が出る。にじみ出る松脂で手がべとつく。

目に触れる物、生きとし生ける物、草むらに咲く一輪のこぼれ花にも、春を知らせたい。春だ、美しい春だよ。そして自由な生命を謳歌させたい。

私の肉体は、今日が今日まで耐えてきたに、今の私は私でないようにさえ感じられてきた。そうだ、きれいな心が本心だとわかることこそが、自分の生きがいを見いだせるのだと思い考えるうちに、12丁の道程を歩んだ。

四国霊場入口には、幹線道路上に寺の案内板がある。ほどなく第二番札所極楽寺の大きな案内板が目につき、教えられた通りの朱塗りの豪壮な仁王門が見えてきた。両脇のあの仁王さんに優しく微笑みをかけられたようで、私は思わず立ち止まり、「今日は」と挨拶した。

やがて、本堂の阿彌陀如来像に両手を合わせて、心静かに拝むことが出来た。

薫風肌に心地よく、汗はほどなくひいた。

私の心の旅路はいつ果てるやら、思えば思うほど、楽しくもありまた嬉しい。お大師様との二人旅、また楽し、「南無大師遍照金剛」お大師様の心を心として、その道に従い、四国のこの山野を、私は歩く遍路の旅を重ねたい。これほどに素晴らしい旅の様式に魅せられつつ、念願哉。晩春の四国路に同行二人の遍路が今も行く。

☆ ☆

四国遍路にみる豪壮な寺院、粹を極める仏像彫刻の美、華麗なる建築様式に魅入る技術へのノスタルジア。インド、中国、朝鮮を経由して、しかも何千年もの悠久の時にも生まれ、見事に開花した技術としてこれらを見ると、心のあるいは魂をもつことの大切さをふと感じ、旅の中でこのような技術の一断面を想った。

1人でも多くの入会をお勧め下さい

※私の提言 「若造の独り言」

小川 康夫 (建設部門)

技術士となってから、「技術士を取られたとはすていですね」とは良く耳にするが、「技術士はすていですね」とはほとんど聞いたことがない。受験勉強中に耳にした、「技術士とは規格化されていない問題点を解決できる人」を实践し、「さすが技術士」といわれるよう研鑽していきたい。

建設業法の改正では、会社の格付けを経営事項審査制度によって行うことになっており、審査項目に技術職員数があるが、そこでの、技術士の評価は1級土木施工管理技士と同じである。私はどちらの資格も持っているが、同格とはとても思えない。関係機関へのアピールが必要ではないでしょうか。

我々請負者側の技術士は発注者側の技術者と対等に意見を交換する機会に恵まれない。幸いにして九州地方技術士センターには発注者側の会員が多数いらっしゃるようで、会員同士として、発注者側・請負者側の意見交流の場ができれば、技術のレベルアップに役立つのではないのでしょうか。

技術士の社会的知名度の低さには悔しいばかりである。また、技術士数に対する技術士会員数の少なさも残念なことであり、さらに私にとっては同年代の会員が少ないことが残念である。会員増強のためには「魅力的な技術士会」を再構築することが急務ではないでしょうか。「魅力的な技術士会」は会員それぞれの考え方があると思われ、なんらかの機会に会員のアイデアを募集してはいかがでしょうか。

先般、支部長から提案された「部会結成」は日頃技術士会活動の東京一極集中に九州在住技術士として、ひがみながら、情報の遅れに危惧の念を抱いていた私にとって、「技術士会の魅力」の一つになりそうなありがたい提案であり、是非参加させていただこうと思う。部会員の親睦、情報交換を計りながら自己研鑽の場とすると共に、部会がローカルティ豊かな技術発信基地になるよう頑張りたい。

思いつくままに、「若造の独り言」をつづりました。諸先輩のご指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。

日本技術士会近況

1. 第17回技術士全国大会報告

「科学技術と21世紀へのかけ橋」をメインテーマに、青い海、緑の島山、瀬戸大橋の四国、古き歴史と由緒を持つ町高松で、去る19日から23日までの期間(既報)、全国より363名の多数の参加者を得て盛大に開催されました。私達技術士にとって、古きよき友に逢い、また、心の弾む日々でした。(関連記事後出)

2. 第4回技術士補研修セミナー開催結果

本年は、7月25日(木)～27日(金)まで3日間で、筑波第一ホテルにて、受講者22名でした。技術士業務についての盛り沢山の講義で、

締め括りは、各部門技術士により、技術論文の書き方、論文のまとめ方と要領、そして専門分野別指導で3日間のカリキュラムを終了し幕を閉じた。

3. 創立40周年記念・第18回技術士全国大会開催について

平成3年東京において開催されることが、今度の第17回全国大会で決まりました。

基本企画は40周年記念大会と銘打って、そのメインテーマは「科学技術が地球を救う」、サブテーマに、自然と開発の調和と融合を求めて!をあげる。

技術士だけの大会とせず、外に向かって「技術士」および「社団法人日本技術士会」を、

「アピール」できるような大会にする。

4. 第20回日韓技術士会議の開催について

10月29日(月) 東京・麻布グリーン会館で、日本側技術士47名、韓国側技術士12名参加、テーマ (1)日韓産業構造調査報告 (2)望ましい技術士制度(国際化に相応しい技術士制度構築)で活気ある会議でした。

5. 参与(常勤)の委嘱および事務局長任命について

成田英夫専務理事兼事務局長が、この度近畿地区に設立される財団法人の設立準備のため8月26日付で退職することとなった。

その後任として保坂彬夫氏(現財団法人原子力安全技術センター理事)を8月27日付で参与に委嘱するとともに事務局長に任命し、また来年度の定時総会に同氏を専務理事に選任する。

6. (株)日本技術士会会員数

4,697名(8月末現在)
 内訳 会員 3,889名
 準会員A 98名
 準会員B 710名

他に 賛助会員 169社

7. 平成2年度の技術士報酬に関する参考資料(平成2年7月26日、報酬委員会)

(1) 日給め方式の場合の1日あたりの報酬
 (技師長+主任技術者+技師A)÷3×2.3
 (66,000円+52,000円+43,200円)÷3×2.3
 =123,587円 ≒123,600円

123,600円(税込み) 2.7% up

(2) 定額積算方式の場合の1日あたりの直接人件費

①技術士 (技師長+主任技術者)÷2
 (66,000円+52,000円)÷2=59,000円

59,000円以上

②技術士補 (技師C+技術員)÷2
 (29,800円+24,500円)÷2=27,150円≒27,000円

27,000円以上

8. 開発途上国に対する環境分野の派遣専門家の登録状況(環境庁、H2.8.1現在)

部門	更新	追加	小計	部門	更新	追加	小計
機械	8	2	10	衛生工学	9(4)	1	10(4)
電気・電子	5(1)	0	5(1)	農業	2(2)	1	3(2)
化学	7	5	12	林業	1	1	2
金属	4	1	5	経営工学	1	0	1
建設	1	3(1)	4(1)	情報処理	1(1)	0	1(1)
水道	7(1)	1	8(1)	応用理学	4(1)	2	6(1)
合計				50(10) 17(1) 67(11)			

注 ()内は部門が重複している方の数(外数)です。

(株)日本技術士会近況 おわり)

技術士会九州支部・九州地方技術士センター 『 行事・会合などの報告』

1. (株)日本技術士会九州支部主催 第3回九州地方公共団体職員と 技術士との合同セミナー開催について

前号(第5号)に詳しくその内容を掲載、お知らせ致しております。変更もありません。会員の皆様奮って各地域よりのご参加をお願い致します。今回は東京本部より上田会長殿が、このセミナーは特に有意義なものだから喜んで参加するとの由、宮崎県技術士会の皆さんが、練りに練ったこの大会を成功させよう。会長はじめ会員の皆さんの参加によっての盛り上がりを期待しております。

2. 私の技術士業務研修会 主催 支部・事業委員会 センター・活性化委員会

- (1)目的 支部・センター会員の業務研修
- (2)研修題目 海外業務に技術士はいかにアプローチすべきか
- (3)日時 平成2年12月6日(木)13:00~18:00
- (4)場所 福岡市中央区渡辺通り4-1-2
セントラルホテル フクオカ
TEL.092(712)1212

(5)研修内容

- ①技術士の海外業務 13:00~14:30
技術士(農業部門)鈴木 清先生
- ②国際協力事業団(ODA)について
14:30~15:15
国際協力事業団九州支部 末次輝雄先生
質疑応答・休憩 15:15~16:10

③海外業務体験発表

- a. (財)海外貿易開発協会(JODC)
よりインドネシアに派遣されて
16:10~16:55
技術士(機械部門)久保田英士先生
- b. 海外(韓国)業務体験報告
16:55~17:40
技術士(電気・電子部門)宮本 浩二先生
- c. ドイツ(ECOS)との
技術協力について 17:40~17:55
CEクラブ会長・技術士(機)黒瀬正行先生

3. 忘年宴会の開催

技術士会九州支部・九州地方技術士センター会員皆様の要望にお応えして、平成2年度の忘年宴会を次のように開催します。奮ってご参加ください。

日時:平成2年12月6日(木) 18:00~20:00

場所:福岡市中央区渡辺通り4-1-2
セントラルホテルフクオカ

TEL.092(712)1212

会費:3,000円

4. 技術士会九州支部 部会結成報告

待望久しき部会が次のように結成されました。

日時:平成2年10月27日(土) 13:00~16:00

場所:福岡商工会議所 6階 605号

出席者:機械4、電気・電子4、建設15、
応用理学4、計27名、委任状102名

議決内容:部会発足は次の通りとする。

(1)第1部会 準備委員会として発足する。

①部門:機械、船舶、航空・宇宙、電気・電子の各部門を第1部会とする。

②幹事:福岡地区 2名
北九州他6地区 2名、計 4名

③準備委員:出席者全員=0柴田、0小林、0森下、町田、長友、渡辺、増永、田中(鶴崎)

④世話人:0印の方

⑤次回準備委員会:平成2年12月6日

(2)第2部会:下記の通り発足する。

①部門:建設、応用理学の両部門を第2部会とする。

②部会長:川崎迪一氏(建設・福岡)

③幹事:(以下 敬称略)
福岡・北九州地区 3名
小川康夫、小倉 駿、久保田 信一
佐賀・長崎地区 1名 柏原 公二郎
大分・宮崎地区 1名 篠島 昇
熊本・鹿児島地区 1名 河田 嗣雄
計 6名

(3)今後の部会結成について

平成2年度中に、この他の4部会も発足する予定。(18ページに追加記事)

(行事・会合などの報告 つづき)

5. 支部・センター合同会計監事懇談会を次の要領で開催致します。

日時：平成2年11月24日(土) 13:00～16:00

場所：福岡市 博多第一ホテル

TEL.092(411)3501

議案：平成2年度中間決算報告と
支部・センターの事業について

6. 第6回常任委員会の開催予定

日時：平成2年11月2日(金) 13:00～16:00

場所：福岡市 博多第一ホテル

TEL.092(411)3501

議題：(1) 本部及び支部・センター報告

(2) その他 多くの議題と報告

(行事・会合などの報告 おわり)

支部・センター委員会だより

◇ 総務委員会(水上委員長)

1. 幹部会

日時：平成2年9月8日(土)13:00～16:00

場所：博多駅東2-1-27 博多第一ホテル

議題：

(1) 部会結成について

平成2年度は、建設関連、機械・電気
関連の2部会を年内に発足させること。

2. 技術士の集い

日時：平成2年9月21日(金)18:00～20:00

場所：福岡市中央区渡辺通り4-1-2

セントラルホテル フクオカ

(詳細レポート 後述)

3. 第3回総務委員会(一部既報)

日時：平成2年9月8日(土)13:00～16:00

場所：博多駅東2-1-27 博多第一ホテル

議題：

(1) 会員増強について(詳細右上に)

(2) "技術士だより" アンケート回答
の検討

(3) 部会結成について

4. 第4回総務委員会

日時：平成2年10月27日(土) 13:00～16:00

場所：福岡商工会議所 6階 605号

議題："技術士だより" 第6号編集打合せ

5. ㈱日本技術士会九州支部 部会結成 (前述)

平成2年度会員増強運動実施要領

①実施期間 自 平成2年10月1日
至 平成3年2月28日

②会員増強運動目標

期間中20%以上の加入増を目標

A. ㈱日本技術士会 会員 (技術士)

B. 九州地方技術士センター
正会員 (第2次試験合格者以上)
準会員 (第1次試験合格者)

C. 支部及びセンター
賛助会員
賛助広告

③会員増強運動施策

1) 未加入者に対し「入会のすすめ」文書
及びパンフレットなど送付

2) 各地区代表幹事及び支部・センター
役員よりご推薦勧誘を願う

3) 会員 MAN TO MAN 運動の実施

④会費の取扱いについて

会員増強運動期間中のセンター入会者
に対しては、本年度会費(年6,000円)は免除、
平成3年度よりセンター会費を頂きます。
但し、入会費 2,000円は頂きます。

⑤入会申込は、取りまとめでも、その都度
でも可。支部事務所までお願いします。

(支部・試験委員会一つづき)
 ◇ 福 岡 試 験 委 員 会 (政野委員長)

1. 技術士第2次試験について
 8月21日、平成2年度技術士第2次試験、筆記試験の実施に先立ち、第2回試験委員会を開催し、試験実施に関する注意事項の説明と、試験会場の設営を行った。
 8月22日～23日の両日における、福岡会場(九大工学部)の受験状況は右表のとおりである。昨年度の1,165名に比べ伸び率は9.4%であった。

受 験 状 況 (福岡会場)

月/日	受 験 者			受験率 (B/A) %
	技術部門	申込者 ^A	午前 ^B 午後	
8/22	建設	824	454 445	55.1
8/23	建設以外	450	301 295	66.9
計		1274	755 740	59.3

2. 技術士第1次試験について
 10月14日、平成2年度技術士第1次試験を東和大学で実施した。
 福岡会場における受験申込者数は382名で、昨年度の315名に比べ、21.3%の伸び率であった。(右表参照)

第1次試験受験状況(10月14日)

	申込者	出席	欠席	受験率
共通科目	37	11	26	29.7%
筆記試験	382	204	178	53.4%

3. 技術士試験申込者数
 全国、各会場における受験状況は、次表のとおりである。

会 場	技 術 士 第 2 次 試 験			技 術 士 第 1 次 試 験		
	平成2年	平成元年	伸び率%	平成2年	平成元年	伸び率%
札幌	654	535	22.2	163	150	8.7
東京	7,010	7,041	-0.4	1,125	1,260	-10.7
大阪	2,874	2,758	4.2	993	1,235	-19.6
福岡	1,274	1,165	9.4	382	315	21.3
名古屋	1,033	1,028	0.5	323	—	—
仙台	657	586	12.1	226	203	11.3
那覇	46	56	-17.9	56	57	-1.8
新潟	321	—	—	153	—	—
計	13,869	13,169	5.3	3,521	3,220	9.3

◇ 郷 事業委員会 (笠木委員長)

産業廃棄物は経済の高度成長とともに著しく増大し、その処理については公害問題となっております。

事業委員会では、産業廃棄物処理に関して日本の権威者である福岡大学花島正孝教授を講師に迎え、去る9月29日商工会議所で講演会を開催しました。テーマは「廃棄物の現状と将来問題及び中近東における現状」で、会員の関心も高く、多数の出席をいただきました。講演ののち熱心な質疑応答があり盛会裡に講演会を終了しました。

(行事レポート参照)

◇ センター 受験対策委員会 (町田委員長)

1. 第2次筆記試験対策講座

平成2年7月28日(土)、福岡商工会議所で直前対策講座を実施した。(平成2年度第3回目) 受講者: 56名 講師: 26名

平成2年度筆記試験対策講座全般を通じての特徴は、受講者が予定人員50名を常に上回ったことである。これは、建設業法関係の改正と、技術士会・センター会員の地道なPR活動によるものであると推定している。

2. 第2次口頭試験対策講座予告

日時: 平成2年11月17日(土) 9:00~17:00
場所: 福岡商工会議所

3. 受験対策委員会開催予定

日時: 平成2年11月17日(土) 17:00~18:00
場所: 福岡商工会議所
議題: 平成3年度の運営について

◇ センター 石井修委員会 (矢野委員長)
特記事項なし

◇ センター 活性化委員会 (江崎委員長)

1. 技術士の活性化に関すること。

活性化活動のメインとして多年の懸案であった支部・部会がいよいよ結成されることとなり、活性化委員会では全面協力の体制を考慮の予定。

2. 官公庁始め関連諸機関ならびに企業などへのPR活動について

上記PRとして、先般、編集出版配布した「技術研究発表特集号」の反響効果が出始めている。(現在出版部数1,000部の中960部配布済みで残40部、全般に好評である。)

3. 技術シンポジウムについて

支部・センター主催、産学官融合なお協賛による「九州地方技術研究シンポジウム」の開催については検討中。

4. 海外技術交流に関すること

韓国大手企業との契約による長期技術指導中の北九州地区会員、高橋興一先生の韓国における活動状況報告を聞く。(近隣九州地方技術士に対する韓国企業の関心は強いとの由一層のPR、交流を期待し、なお紹介を依頼する。)

(支部・センター委員会だより-おわり)

❀ 声の広場 地区活性化だより -5- 長崎地区

長崎県の技術士会について

長崎県技術士会の起源を辿れば、昭和46年4月に遡ることになる。私が県から県の土地公社に移った昭和45年2月に登録して技術士の称号を受けてから1年後に、太洋技術開発(株)黒瀬社長より技術士会の組織のことについて話があり、佐世保市に本社がある大栄開発(株)野々下社長(現会長)、藤永地建(株)藤永社長(現会長)のご三人の間で話が進められ、

長崎県技術士会長 田中 武熊

たようですが、昭和46年3月最初の会合がもたれたように記憶しています。

集まった技術士の先生は5~6名だったように思いますが、この会合で会長、副会長を決めて今後の会の発展を図ろうということで、会長は田中、副会長は藤永先生ということに、

(声の広場 地区活性化だより つづき)
 決められた。当時は数名の会合であったこと
 から役員決定も簡単なもので、私が会長に
 選ばれたのは、当時私が県の都市計画課長から
 長崎県土地開発公社の常務理事というとい
 う地位に移行したことから、県と縁の深いと
 いうことが根拠であった。技術士になったば
 かりのホヤホヤの私は、大先生方の前には平

伏する気持ちであったのに、この会長という
 重職を受けることになった次第であります。

爾来今日まで、会長の職を副会長と共に留
 任を続けているところです。

当時5～6名だった会員が、今日では県内
 居住の技術士は41名、技術士補は14名、合計
 55名の大家帯になっております。これを部門
 別に分けると次の表の通りです。

部 門	技 術 士	技 術 士 補	部 門	技 術 士	技 術 士 補
機 械	4	—	農 業	5	—
船 舶	2	—	林 業	—	1
電 気 ・ 電 子	—	1	水 産	1	—
資 源 工 学	1	—	経 営 工 学	1	—
建 設	17	11	応 用 理 学	9	—
水 道	2	1	計	42	14

注：技術士42名は、1名が2つの部門を所有していることによる。

長崎県技術士会は技術士第2次試験および
 第1次試験に合格した者で、県内居住者はす
 べて長崎県技術士会員にすることにして会を
 組織し、年会費5,000円で賄われることにな
 っており、技術士に関する情報・資料は出来
 る限り全会員に等しく配布することにしてい
 ます。このことは日本技術士会会員として、
 はたまた、センター会員として入会されるこ
 とを念願してのことです。

大世帯という程でもない本会の運営として
 さほど困難では無い筈であるが苦慮するこ
 ろが多い現状である。その原因が何処にある
 かいろいろと考えてみるが、なかなか的確な
 原因を見出すことは容易ではない。強いて言
 えば殆どの会員が企業内技術士であること
 はなから考へられる処であります。

技術士の活性化についても、何か活路を見
 出すことはできないかと考へて、平成元年度
 は「青年技術士会」を開催してみました但未
 だしの憾が深い。然し一度開催した程度で実
 る筈がないので平成2年度も開催することに
 しています。

活性化に導く方策の一つとして「長崎県年
 鑑」に技術士一人ひとりの写真入りで氏名、
 本人の部門名、専門とする事項、所属する企
 業名等を掲載して、長崎県技術士会の知名度
 を高めることにして6年程前から実施してき
 ている。この年鑑は、長崎県を始めすべての
 地方公共団体の課長以上の役職職員氏名、議
 会の議員氏名、あるいはまた企業の組織や幹
 部の役職、氏名等が掲載されていることから
 評判はよく利用度は高い。従ってこの年鑑に
 名を連ねている本会の知名度も漸次高揚され
 てきているところであります。

また本年度は長崎県技術士会会員名簿を作
 成して、県庁を始めその出先機関、主要都市
 の部長にこの名簿を届け、長崎県技術士会
 が質の高い技術集団であることを知って頂い
 て、技術士の活用を促して貰うことを企画し、
 去る9月29日開催の総会において予算
 も認められたところであります。

長崎県技術士会は毎年4～5月に総会を開
 催しているところであるが、平成2年度は諸
 般の事情で去る9月29日午後2時半より、長

(声の広場 地区活性化だより つづき)
崎空港のある大村市西本町の第二てん新で開催されました。出席者は技術士41名中26名、技術士補14名中1名、事務局長を含めて28名の出席でした。開催前日までは30名の出席届を受けていたところであるが、入札等のため2名が出席できなくなったのであります。これが建設部門の技術士の宿命でもあると思います。

今回の総会は平成元年度技術士合格者が7名という、前例のない多数の合格者があり、この方々のお祝いを兼ねた総会で、懇親会に入っていよいよ熱気溢れ盛会のうちに午後8時終了しました。

総会には土居支部長をお招きして、会員増強や技術士の活性化について熱弁を振るってもらったことになっていたところ、たまたま当日福岡市内に於て日本技術士会九州支部主催の講演会が持たれることになり、残念でならな

かったが本会が会員に総会の案内状を発送した日に支部の案内状が届き、支部長をお招きできなかったことは誠にやむを得ないことであります。

長崎県技術士会も当初は名称も無い俚スタートし、一時は日本技術士会九州支部・長崎支部として運営し、今日では「長崎県技術士会」という名称で、日本技術士会九州支部の傘下にあつて支部役員・センター役員を送り、また総務委員、事業委員、組織委員、活性化委員をそれぞれ支部長の指揮下に参加して、九州支部と一体となって技術士の使命に向かつて活動している。以上が我が長崎県技術士会の実態であり、会の成長を祈って努力しているところであり、九州支部のなご一層のご支援を祈念して終わります。有難うございました。

(地区活性化だより-長崎地区- おわり)

熊本技術センター報告

-熊本地区-

熊本技術センターでは、“みんなで考えよう人間と水のかかわり”その3「7. 2水害を考える」のシンポジウムを下記の通り開催しました。

日時：平成2年10月27日(土) 13:30~16:30

場所：熊本市総合体育館青年会館 2階

内容：各先生方に基調講演を戴き、その後パネルディスカッション

・コーディネーター

堀 一夫氏(熊本大学名誉教授)

・パネリスト

中島 重旗氏(熊本大学工学部教授・技術士)

尾方 信夫氏(九州東海大学講師・元農林水産省林業試験場長)

松本 宏氏(元建設省熊本工事事務所・元熊本市都市局長)

林 博昭氏(アジアプランニング(株)社長・技術士)

共催：(株)日本技術士会九州支部

後援：熊本県・熊本市・くまもと科学他

技術講演会実施報告

-福岡地区-

日時：平成2年9月29日(土) 13:30~15:30

場所：福岡商工会議所 6階

演題：廃棄物を取巻く諸問題及び海外事情について

講師：福岡大学工学部 工学博士

花嶋 正孝 教授

概要：54名の出席申込があり、当日は46名の出席者で盛会であった。

教授は我が国における廃棄物処理の権威であり、厚生省・環境庁などの数多くの審議会委員会のメンバーとして活躍されている。従

って話題も大変豊富で、我が国における現状や問題点について数多くのデータをあげて説明があった。特に我が国では法制度の対応が遅いためいろいろと混乱を生じていること、この点に関してアメリカは次々と法律改正して素早く対応しているということであった。

一般廃棄物に関しては未だよく解明されていない問題があるが、産業廃棄物になると企業のノウハウがからんで実態がつかめていない。しかも問題が多いのはこの方であつて何等かの法規制が望まれる。

講演の後半は数十枚のスライドによって具体的な説明があり、大変参考になった。もう少し時間が望ましい位であった。

◎ 活性化協議懇親会報告 ◎
-鹿児島地区-

鹿児島県技術士会では、会の活性化について斬新なアイデアの発想とその抽出、まとめ方、進め方等について、比較的現世代に順応した感覚の若い世代の中から、積極的な意見を引き出したいとの考えから、青年部会を創りたいことを皆に諮り、これを会の組織の中に入れて活用したい意図の下に、懇親会の形をとって集会を開いた。

概要は下記のとおりである。

日時：平成2年8月31日(金) 17:00~20:00

場所：鹿児島市 ステーションホテル

ニューカゴシマ

1. 目的 若い世代の意見を大事にして、会の活性化対策に役立てたい。

2. 組織 特に規約は作らないが、会員は暦年50才代迄を標準とする。それ以上の者でも、積極参加の意図ある者は会員とする。
3. 集会 年数回、世話人が呼びかけて開く。
4. 世話人等 集会の呼びかけ。集会の設営をし、論談をまとめ、会長に報告。世話人として次の4名を選んだ。村岡公範。井内祥人。新屋敷和明 上野篤秀。
5. 集会の論議
イ. 自由論議
ロ. 提示された特定事項に対する論議。
6. まとめ報告 懇談の中で話題になり、まとまった主な事項、及び集会人員等を会長に報告する。
7. 経費 会場設営費として会より適宜補助をする。その補助金は会の予算中、会議費より支出する。(声の広場 おわり)

🏆 行事レポート 🏆 ◇ 第17回技術士全国大会へ出席して

副支部長・大分地区代表幹事 原井 東男

去る10月20日、台風一過の菊花香る秋晴れを迎えたよき日に、第17回全国大会が、四国は高松市において開催されました。

3年前、第15回九州大会のことを思い浮かべ、その掌に当られた実行委員のご苦勞を察しつつ、私も参加致しました。

行事内容については会報「技術士」などで諸兄もご存じの通りでございますが、回を重ねる毎に、21世紀へ向かって我々技術士の果たす役割が益々増大し、期待されている大会内容になって来たことを痛感した次第です。

大会内容を簡略に記しますと、下記の通りです。

○大会主題

「科学技術こそ21世紀へのかけ橋」

○大会宣言

私たち技術士は、人間社会と地球環境のため、ますます高度化、複合化する科学技術を、豊で、幸せな21世紀へのかけ橋として役立てることを、ここに宣言します。

○大会次第

- 受付
- 理事会
- 先端複合技術研究会
- 分科会
[第1分科会]
21世紀の科学技術と技術士
[第2分科会]
瀬戸内時代と技術士の役割
[第3分科会]
日本技術士会の在り方
- 映写会
- 分科会報告
- 記念講演
- 記念式典
- 懇親会

私は、以前より技術士会のあり方について色々と疑問を抱いておりましたので、今回も第3分科会へ参加しました。

パネラーの発言要旨は次の通りです。

(行事レポートつき)

*小泉氏

1. 会の運営に企業内技術士のニーズを反映させ、未加入者にも魅力的な会を作る。
2. 会として企業と未加入者に活動のメリットを訴え、加入の欲求を持たせる。
3. 既加入者一人ひとりが中間を誘い、会員増加に努める。

*前田氏 (本部副会長)

重点行動

- ①国、地方の政治面への進出
- ②月刊「技術士」の充実……会と会員の唯一のパイプ
- ③技術士の活用のための横断的な組織、チーム作りの助成

今後の具体的な活動

①会員増強特別委員会の設立

平成2年度事業計画の基本方針の第1……会員増強を具体的に実行するための委員会を設立し、活動の母体とする。会員の意見、声を十分に反映して運動を展開する。

②当面の課題

- a) 日本技術士会の全国組織の整備
- b) 技術士法改正の研究・定期的研修制度、登録更新制度その他平成3年の技術士審議会に提案できるようまとめる。

- c) 技術士会館の建設準備委員会
- d) 技術士業務のビジネス体制の整備
- e) 新合格者に対する勧誘
- f) 未加入登録者の入会促進

*堀氏

1. 権威の確立・公的委員、試験主体など
2. 業務法としての確立・資格法の見直し
3. 選挙法の改訂……理事、会長選挙方法
4. 会員の規制・登録即入会、罰則規定等

以上のような提言に対し、会場より議論が続出しましたが、何分にも法改正を必要とすることや、選挙制度改正の問題等も含まれ、息永い議論が必要となるので、本大会決議として“特別委員会設置を要望する。”ことで一応区切りをつけました。

大会参加者は総数 363名で、我々九州支部よりは14名の方に参加いただきました。

ご遠方、ご多忙の中わざわざご参加いただき、深く感謝いたします。

唯、高齢化社会を迎えるなか、本大会も多分にその傾向があり、大会そのものの活性化をはかることが必要ではなからうかと痛感しました。

また、九州支部で行っている各種行事は、具体的で、且つ適切であることに確言を得た次第です。

大会の一断面を記し、報告といたします。

✿ 随想 ◇ 技術士会活性化への想い

久保田 信一 (建設部門)

技術士会入会後の一年半程に、会員増強論を幾度も見聞した。それは入会勧誘協力依頼の形や会員数拡大の必要性であり、また会員からの提言である。技術士会行事類の東京一極集中傾向のもとでの、数少ない九州支部主催行事には努めて参加してきたものの、毎回のことか小人数で同じ顔ぶれに定まっておき、技術士会の活性不足を痛感させられた。

技術士会行事・会合への新規参入を望むため、未加入先輩・知人技術士の方々へ入会を勧めてみた。常に異口同音なる「入会のメリットは何があるのか？」との問いへの、「異業種間交流や新しい人脈の形成が有意義ですよ。」との答えで入会を得た人数は片手の指

に満たず、大多数の方々の反応なしの態にさびしい想いが強く残っている。技術士試験合格者が28千人余りに達した現在で、技術士会会員数の38百人に足りない状況に鑑み、会員1万人増強運動に諸手を挙げて賛同したい。技術士会と各会員自体の活性化を図るには、技術士会の活動基盤を形成することが不可欠と考えるからである。言い換えれば技術士会の社会的地位向上が技術士各人の、そして私自身の技術士資格を、よりよく活かしていく道筋であろうとの想いからである。

入会を渋られる方達へ入会拒絶の理由を逆に質問して試みたところ、(次ページへ)

(随想 つづき)

- ① 入会する必要がない。
- ② 入会しても得るものがない。
- ③ 入会する魅力がない。

といった応答を貰ったが、

①項の“技術士法上は任意入会”なる趣旨を除き、“業務遂行上で役得かない”にも解される①項を含めた全てが技術士会への失望なりと、また反対解釈からは期待感の裏返しとも受け止めることができよう。

会誌の“会員数拡大のために未入会者への魅力や社会知名度の高揚、入会したくなる環境づくりが求められる”旨の提言に疑問の余地はない。しかし“称号法なる技術士法の業務法への改正運動が必要”は同感の限りであるものの、そこに比較で取り上げられる弁護士法や建築士法の単業種対象なのと異なるため、技術士法は複業種の全18部門にまたがるという特殊性を加味した運動が必要であろう。会員数増加によって法改正をも可能とする技術士会の団体力向上には、技術士会組織・運営の改善・創出による活性化が切望され、九州支部における部会結成の動きは全くこの意に沿うものと期待の想いを大きく抱かされる。多数の技術士入会を実現するためには様々な創意工夫での対策を要するだろうが、日の浅い青二才会員の私案事の記述を許されれば、次の如き方策が挙げられる。

- ① 会誌や“技術士だより”の未入会者購読・閲覧へ道を開くこと。
- ② 各種行事・会合への非会員の体験ないし試行参加を受け入れること。
- ③ 会活動状況を記載した入会案内書や勧誘紙の配布を諸方法で施すこと。
- ④ 会活動の東京一極集中を是正し、地方の特性を活かした支部分散を図ること。
- ⑤ 提言に対する他会員諸氏の意見を求める等、各種の討議の場を設けること。
- ⑥ 全部門に共通するテーマの講演会やふれあいの会合を増やすこと。

入会の呼びかけは勿論重要であるが、その実効を促すために技術士会の魅力づくり、及び活動内容広報を必須と考える次第である。既会員技術士各自のご協力を前提とした技術士会本部の、会員数増大・活性化へ向けた活動を期待してやまない。

技術士会会員たる私個人は、会活性化運動に応えるべく向後共微力を尽くす一方、会員であることのメリットを自身で見出していきたく考える。そして技術士にふさわしい社会的評価を得られるような業績を積んでいくことが必要だとも考えている。会員数増加が技術士の社会的認識高揚を招き、異業種交流と異業種融合を通じた技術力研鑽に寄与することを信じ、技術士会の活性化並びに会員諸氏のご活躍を祈念する想いである。 以上

グループ報告 ◇

技術士の集いレポート

九州地区の技術士登録者数731名に対し、支部入会者175名、九州地方技術士センター会員339名で、年々の総会で会員増強の強い要望が出されている。総務委員会では官公庁、民間企業内技術士の若い世代の集いを試み、幅広い運動の一環として「技術士の集い」を行った。

日時：平成2年9月21日(金) 18:00～20:00

場所：福岡市中央区渡辺通り4-1-2

セントラルホテル フクオカ

出席者：(敬称略)・支部＝安武、水上、笠木、完戸、斎藤、重富

・九州地方建設局＝梅原、甲斐、山本

- ・福岡市＝真鍋
- ・企業内技術士＝丸丸、森下、和田

概要：

安武副支部長のあいさつの後、出席者の自己紹介があり、水上総務委員長より支部並びに九州地方技術士センターの活動経過組織、常設委の活動、会員状況の報告があった。

なお、官公庁在職のセンター会員入会の促進方について参加者にお願ひした。参加者からは都市問題として水、災害、ゴルフ場、汚染等の活発な意見が出、技術士会のセミナーの必要性が強く要望された。

(グループ報告 おわり)

👁️ ”技術士だより”についてのアンケート集計結果 📖

小松 栄一（経営工学）

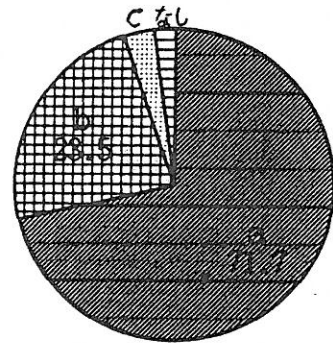
☆回答率

	福岡	北九州	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	支部合計
郵送数	200	79	23	36	48	35	35	41	497
回答数	66	19	10	11	16	13	14	13	162
回答率%	33.0	24.1	43.5	30.6	33.3	37.1	40.0	31.7	30.6%

1. 「技術士だより」を読んでいますか。

- a. 毎号、大体読んでいる。
- b. 主なところは読んでいる。
- c. あまり読まない。

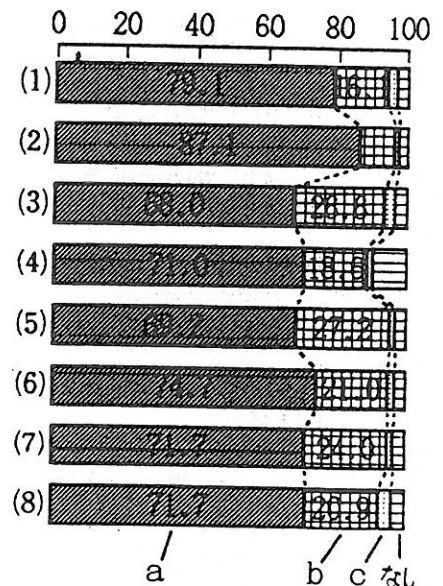
a	b	c	なし
116	38	5	3
(71.7%)	(23.5%)	(3.1%)	(1.7%)



2. 「技術士だより」は次のように各セクションからなっていますが、それぞれについてご意見をお聞かせ下さい。

- a. 興味がある。
- b. あまり面白くない。
- c. なくてもよい。
- 記入なし。

セクション	a	b	c	なし
(1) 巻頭言	128	26	4	4
(2) 私の提言	141	18	0	3
(3) 本部近況	110	43	4	5
(4) 支部・センター行事、会合	115	30	1	16
(5) 支部・センター委員会報告	112	44	1	5
(6) 声の広場	121	34	2	5
(7) 行事レポート	116	39	1	6
(8) 会員ニュース	116	34	6	6



3. 以上のほかに付け加えたらよいと思う項目がありますか？

a. <input type="checkbox"/> ない。	113 (69.8%)
b. <input type="checkbox"/> ある。	29 (17.9%)
記入なし。	20 (12.3%)

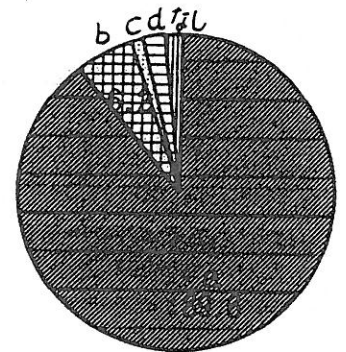
※ b. の回答のうち、主なものは次のとおり。

- 新技術（最新技術）の紹介
- 会員の趣味（特技）
- 会員の紹介
- 会員の研究発表
- 部門別情報
- 海外・世界的な技術士活動
- 教養・文化
- 目次

4. 体裁について

(1) 紙面の大きさ

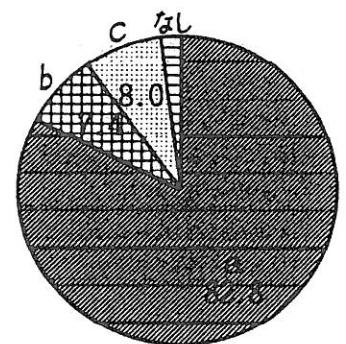
a. <input type="checkbox"/> 現在の大きさ（B5）でよい。	145 (89.6%)
b. <input type="checkbox"/> もっと大きい方（A4）がよい。	10 (6.2%)
c. <input type="checkbox"/> もっと小さい方がよい。	0
d. <input type="checkbox"/> その他	4 (2.5%)
記入なし。	3 (1.8%)



※ d. その他 の内容 記入なし 4

(2) 活字の大きさ

a. <input type="checkbox"/> 現在の大きさ（10.5ポイント）でよい。	134 (82.8%)
b. <input type="checkbox"/> もっと大きい方がよい。	12 (7.4%)
c. <input type="checkbox"/> その他。	13 (8.0%)
記入なし。	3 (1.9%)

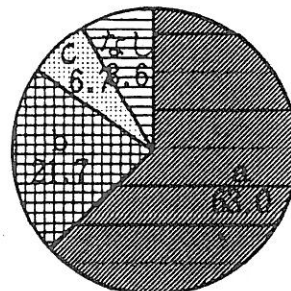


※ c. その他 の内容（後の設問(4)からの意見を加えてある）

- 字間をあける …… 8
- 行間をあける …… 8

(3) 表紙（標題）について

a. <input type="checkbox"/> 今のままでよい。	102 (63.0%)
b. <input type="checkbox"/> 色刷りにした方がよい。	35 (21.7%)
c. <input type="checkbox"/> その他。	11 (6.7%)
記入なし。	14 (8.6%)

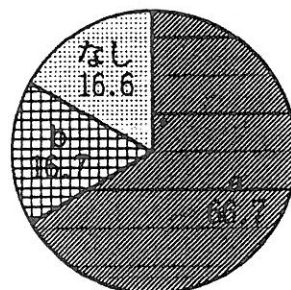


※ c. の意見

- もう少しセンスを
- らしい表紙として独立ページに
- 目次を表示
- 日刊新聞もカラフルになってきた
- 黒以外のインク使用でやわらかい感じを
- c. としたが、内容説明なし …… 6

(4) その他

a. <input type="checkbox"/> 特にない。	108 (66.7%)
b. <input type="checkbox"/> 検討して欲しい。	27 (16.7%)
記入なし。	27 (16.6%)

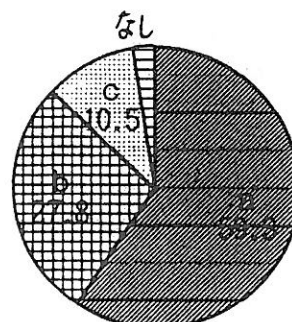


※ b. の意見

- 各セクション毎に改ページを
- デザインがやほったい
- 読みたいと思わせる企画を
- 見出しと、内容の表現を区別する
- 紙頁の拡充、目次を設ける
- 文字・行間隔について（前述） …… 8
- 掲載内容について …… 4
- 内容説明なし …… 6

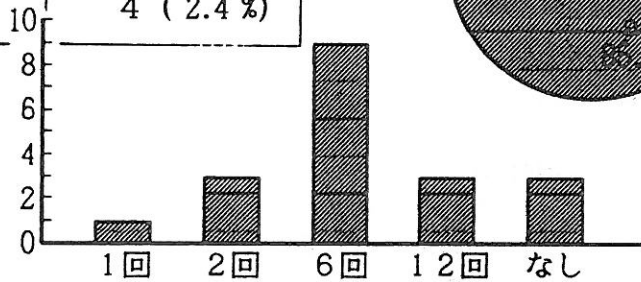
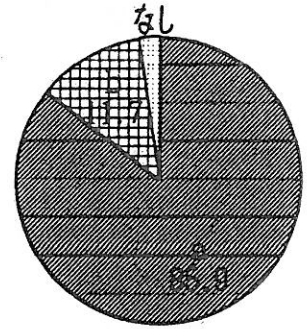
5. ページ数について

a. <input type="checkbox"/> 今のままでよい。	96 (59.3%)
b. <input type="checkbox"/> もっと多くなってもよい。	45 (27.8%)
c. <input type="checkbox"/> 16ページをメドにする。	17 (10.5%)
記入なし。	4 (2.4%)



6. 発行回数について

a. □ 今のまま(年4回)でよい。	139 (85.9%)
b. □ 発行回数を年()回にする。	19 (11.7%)
記入なし。	4 (2.4%)



※ b. の内訳

- ・年1回 1
- ・年2回 3
- ・年6回 9
- ・年12回 3
- ・なし 3

7. その他

上記以外のことについてご意見を簡潔に記入下さい。(支部へのご意見でも結構です)

a. 意見の記入あり。	56 (34.6%)
b. 「なし」「特になし」などの記入。	5 (3.1%)
記入なし。	101 (62.3%)

※ a. の主な意見についての分類

- ・“技術士だより”を続けることへのねぎらい、激励など …… 22
- ・“技術士だより”の編集に関すること …… 18
- ・技術士会についての意見 …… 16

8. 所感

現在の方向について、多くの方(70~80%)から賛同を得たと思っております。この貴重な多くのご意見をもとに、私ども編集に携わるものとして、予算とワープロに相談しながら、僅かずつでもよりよいものへと、皆さんに愛される“技術士だより”づくりに精一杯邁進いたしたく、お忙しい中をご回答戴いた諸先生に深く感謝を申し上げ、まとめいたします。

❀ 会員ニュース ❀

★社団法人日本技術士会 名誉会員・福岡地区九州地方技術士センター 正会員・福岡地区・建設部門 小川武雄先生が平成2年7月31日逝去されました。

★社団法人日本技術士会 名誉会員・福岡地区九州地方技術士センター 正会員・福岡地区・建設部門 赤司彦一先生が平成2年10月16日逝去されました。

謹んでおふたかたのご冥福をお祈りいたします。

☆社団法人日本技術士会(九州支部) 入会

(区分)	(地区)	(氏名)	(樹欄)
入会	福岡	黒江 浩	機械
"	"	里 一男	化学

☆社団法人日本技術士会(九州支部) 転入出・退会

(区分)	(地区)	(氏名)	(樹欄)
退会	北九州(轄)	園田 豊實	水道

(次ページにつづく)

☆九州地方技術士センター入・退会・転出

(区分)	(地区)	(氏名)	(職種)
入会	福岡	正領 牟田 基久	建設
"	佐賀	" 楠田 直稔	農業
"	福岡	" 中島 康博	林業
"	"	" 黒江 浩	機械
"	熊本	" 池内 巖	林業
退会	北九州	正領 宇野 収	電気・電子
転出	福岡	" 秋永 徳昭	建設
退会	福岡	正領 多田 稔	応用理学

-以上、平成2年7月1日～9月30日
受付順、敬称略-

☆会員勤務先(住所)および連絡先変更

1. 島田 剛之 (建設)
勤務先 〒810 福岡市中央区天神3-6-36
第一黒田ビル4階
(株)PD都市環境コンサルタント
TEL (092)712-0206
連絡先 〒814 福岡市早良区高取2-3-23
TEL (092)845-2489
2. 広松 茂利 (建設)
連絡先 〒830 久留米市合川町102
レオパレスB104号
3. 山下 重幸 (建設)
勤務先 〒812 福岡市博多区博多駅南
4-20-17
(株)増田特殊機械製作所
TEL (092)431-1631
FAX (092)431-1634
4. 杉本 徳博 (農業)
勤務先 西日本総合コンサルタント(株)
5. 原田 彰 (建設)
勤務先 佐賀県土木部開発局河川開発課
6. 甲斐 章人 (経営工学)
連絡先 〒870 大分市長浜町1-6-4

7. 池内 文雄 (衛生工学)
山本へ改姓
連絡先 〒758 萩市大字椿3170-1
8. 木崎 靖宏 (林業)
連絡先 〒811-31 福岡県粕屋郡古賀町
日吉1-20-7
9. 永島 英起 (建設)
連絡先 〒815 福岡市南区鶴田4-36-13
10. 森 博史 (建設)
連絡先 〒814-01 福岡市城南区七隈
3-8-9-7
TEL (092)864-4501
11. 中川 茂幸 (建設)
上堂 蘭勝久 (建設)
鶴島 郁之輔 (建設)
勤務先住所 〒812 福岡市博多区古門戸町
1-1 日刊工業ビル
(株)五省コンサルタント
TEL (092)281-4210
12. 河内 大明 (建設)
勤務先 〒800 福岡市中央区渡辺通り
1-1-1
西日本技術開発(株)
TEL (092)781-1239
連絡先 〒803 北九州市小倉南区長行東
2-23-32
TEL (093)451-6432
13. 宮村 重範 (建設)
筒井 光男 (建設)
田中 実雄 (建設)
勤務先電話・FAX変更
佐世保重工業(株) 佐世保造船所
TEL (0956)25-9220
FAX (0956)25-9229
14. 梶谷 俊介 (建設)
連絡先 〒870-11 大分市星和台2-5-3

(会員ニュース おわり)

DCRシステム

(株)シーエスティ

西ドイツで開発された産業廃棄物を処理するシステム。含油スラッジ、汚泥、ヘドロ、土木掘削ノロ、ミルスケール、下水処理場の脱水スラッジ、製紙ヘドロ、廃プラスチック等の対象処理物に、DCR剤を混入し、ミキサーまたはスタビライザーで混合し、化学反応を起こさせるプロセス。処理物は2次製品化も可能。設備コスト総処理コストは、従来方式に比べて約1/2程度。(西ドイツでの実績) (福岡/経営工学 重富 秀雄)

★投稿を募る★

技術士の主張・賛助会員(会社)の紹介など、技術的または一般的なことでも結構です。積極的な皆さんの投稿をお待ちしております。(200字詰め原稿用紙2~3枚程度、支部事務局宛)

編集後記

☆ 物質万能の世の中に、チクリ!と一針、ややもすれば、科学技術が金儲けの方向に向きたがる今こそ、科学者・技術者は率先して心の浄化を図らなければ、地球環境の浄化も望めない。今回の巻頭言は、詩情豊かなユニークさの中に、何か多くを示唆しているように感じました。

☆ この頃、肩関節症候群なるいわゆる五十肩に見舞われた。幸い左なのでそうでもないが、ワープロをやっていると二の腕まで痛みが走る。この編集も漸く終わりに近付いてホッとしたところだが、任期の2年間近なので、部会組織ではないが“ワープロ編集部会”の組織化を望むこと切。

☆ わが愛機はサンヨー・60ドットですが、この際、ワープロ(パソコンも当然)登録して戴くとありがたいと思います。(小)

◇会誌“技術士”最近号の主要目次◇

☆8月号

- ・私の技術士業務 創造的技術士をめざして/大場 洋一
・研修のページ ミネラルウォーターへの招待/村山涼二 工業製品の安全性に対する検討 /西納 壽

☆9月号

- ・私の技術士業務 カノニカル ベイブメント/田中 信義
・研修のページ レオロジーの高分子工業への応用 /草水 純男 めっき技術の現状と将来展望/高橋駒雄

☆10月号

- ・私の技術士業務 楽しき哉、技術士稼業 /中山 正夫
・研修のページ 新製品開発と技術士の役割/岸本 菊夫 技術士のための抗生物質の基礎と応用 /平井 輝生

支部・総務委員会からの報告(追加)

- 部会結成についての記事(4ページ)で、今後、結成予定の部会は次の通り。
・第3部会:化学、繊維、金属、資源工学の各部門
・第4部会:水道、衛生工学の両部門
・第5部会:農業、林業、水産、生物工学の各部門
・第6部会:経営工学、情報処理の両部門

部会結成の際は、あらかじめご案内いたしますので、各部門の方は、奮ってご参加ください。

発行: (株)日本技術士会・九州支部
九州地方技術士センター
〒810 福岡市中央区大名1丁目
12-61 新天ビル402
☎(092)771-9534
編集:九州支部・総務委員会